

令和2年度 補正予算

1億6920万円を増額し、予算総額は36億544万円に

令和2年度各会計予算総額から1億6920万円を増額し、全会計の予算総額は36億544万円となりました。

一般会計歳出については、経年劣化により不具合の出ている納付書読取機の更新費用211万円などを追加し、年度末までに見込まれる不用額を減額しました。

歳入歳出の差額で発生する余剰金3億6332万円については、今後予想される老朽化したインフラ施設等の更新に備え、公共施設建設基金(※)に積み立てられます。

会計名	補正額	予算総額	
一般会計	1億6785万円	27億5224万円	
特別会計	国民健康保険	△314万円	3億9992万円
	簡易水道事業	△698万円	8225万円
	介護保険	1146万円	3億2115万円
	介護予防支援事業	—	96万円
	後期高齢者医療	—	4893万円
合計	1億6920万円	36億544万円	

(万円未満四捨五入)

※公共施設建設基金

公共施設の建設や公有地取得等に要する財源を積み立てるための基金。

専決承認

新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種が円滑に出来る体制を整えるために必要な

経費の予算計上について、専決処分したことが報告され、承認しました。

使いみち

- 新型コロナウイルスワクチン予防接種事業 308万円

財源

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金 308万円



おもな条例改正等

感染症対策業務従事職員に特殊勤務手当

鳴沢村職員の特殊勤務手当に関する条例の制定

一般職員が、新型コロナウイルス感染症対策業務として感染症等防疫作業を行う場合、その作業に

ついて手当の支給など特例措置を講ずるため、条例を新たに制定しました。

(担当:総務課)

村長及び村議会議員の選挙運動費用を一部公費負担

鳴沢村の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

公職選挙法の一部改正に伴い、町村議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成及び選挙運動用ポスターの作成にかかる費用を公費負担の対象とするた

め、条例を新たに制定しました。

また、これに合わせて「鳴沢村の議会の議員及び長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例」も新たに制定いたしました。

(担当:選挙管理委員会事務局)

新たな介護保険料額等を規定

鳴沢村介護保険条例の一部改正

介護保険法の規定に基づき、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする第8期介護保険事業計画を策定することに伴い、新たな保険料

額及びその期間を定めました。

また、新型コロナウイルス感染症の定義について、所要の改正を行いました。

(担当:福祉保健課)

介護施設等利用者の利便性向上

鳴沢村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

法令等改正に伴い、居宅介護支援事業者による虐待防止のための措置に関する規定や、施設利用者の利便性向上

及び事業者の業務負担軽減のための措置に関する規定の追加など、所要の改正を行いました。

(担当:福祉保健課)

電柱設置などの村道占用料金を改定

鳴沢村道路法施行条例の一部改正

道路法施行令の一部改正に伴い、
村が管理する道路に係る占用料の
額について、国の管理する道路に係

る占用料の額に準じて改定するた
め、所要の改正を行いました。

[担当:振興課]

自転車通行帯に関する規定を追加

鳴沢村村道の構造基準等を定める条例の一部改正

道路構造令の一部改
正などに伴い、自転車通
行帯に関する規定を追

加するなど、所要の改正
を行いました。

[担当:振興課]

「道の駅なるさわ」「富士山博物館」 「フジエポックホール」の指定管理者を指定

令和3年3月31日に期限を迎える
「道の駅なるさわ」「なるさわ富士山博

物館」「フジエポックホール」の指定管
理者を、次のとおり指定しました。

- 1 施設の名称
道の駅なるさわ
- 2 指定管理者
南都留郡鳴沢村711番地4
鳴沢村農業協同組合
代表理事組合長 渡辺 久男
- 3 期 間
令和3年4月1日から
令和8年3月31日まで

- 1 施設の名称
なるさわ富士山博物館、
フジエポックホール
- 2 指定管理者
笛吹市石和町窪中島122番地1
株式会社 日食
代表取締役 志村 忠夫
- 3 期 間
令和3年4月1日から
令和8年3月31日まで

[担当:企画課]

意見書を国へ提出

「子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書」を提出

- 請願者 保険適用拡大を願う会 代表 小尾 直子
- 議案提出者 渡辺 宗司
- 意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣

〈意見書要旨(抜粋)〉

子どもの歯や口腔の健康な状態を保持すること、発育期において適切な歯科矯正治療を受けられることは、顔の骨格や身体の健康を良好な状態にするだけでなく、精神的安定や生活習慣の改善にも効果があるといえる。

これまでに、歯科矯正治療に係る療養の給付の対象は、その範囲の拡大や見直しがおこなわれてきており、現在は53の疾患が保険適用とされている状況である。しかし、特定の疾患に該当しない場合が多く、保険適用外の治療のため、その費用の負担が高額なことから診察にとどまり治療に踏み切れないケースも少なくない状況である。

子どもの歯並びについては、平成6年から学校検診の必要治療項目に入れられ、その中で、勧告を受けても経済的に困窮しているひとり親世帯や低所得世帯においては、保険適用に該当しない場合、必要な治療が受けられず矯正治療を断念している場合もあるのが現状である。

こうした現状をふまえ、子育て支援の観点からも、子どもたちの適正な歯科矯正治療を可能にするため、国において、保険適用の拡充および必要な周知をおこない、保険適用に至らないケースにおいても、さらなる適用基準の拡充を検討することを求める。

人事

教育長の渡邊伸一氏が3月31日で任期満了となるため、次の方の任命に同意しました。

任期は3年間となります。

渡邊 伸一 氏
(鳴沢東9組)【再任】



公平委員会(※)委員の小林祺一郎氏が3月31日で任期満了となるため、次の方の任命に同意しました。

任期は4年間となります。

※公平委員会

職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分を審査し、これについて必要な措置を講ずる行政委員会。

渡辺 虎英 氏
(大田和4組)



総務教育厚生常任委員会

委員長

三浦 雄一郎

現場の声を吸い上げ

増加するアライグマの獣害対策を

3月8日に、村の農業の発展にご尽力されている「4Hクラブ(※)」の皆さまと座談会を開き、ご意見やご要望などをお伺いしました。

クラブの皆さまからは、次のような活動概要の説明やご意見等をいただきました。

- ◆ 農業の振興と発展をベースに活動。トウモロコシ等を中心に作付けしており、種、肥料、農薬など様々な資材を試行錯誤し、普及に向けて頑張っている。
- ◆ 「青年就農給付金」は条件が厳しい。親元就農は対象外で、親と経営を別にしても、農機具を親に借りると交付対象とならない。このハードルが下がれば、鳴沢村に戻ってやってみようという人も増えると思う。
- ◆ 鶏糞などの購入費も助成していただけるとありがたい。
- ◆ アライグマの被害が増加している。捕獲檻で駆除しているが、繁殖が早く追いつかない。トウモロコシはてきめんにやられる。昨年2千本作付けしたが、若い実を端から食べてしまうので1本も収穫できなかった。サルの大型囲いわなのように一網打尽できる対策を。
- ◆ 新規就農者への住居や農機具の支援をしてほしい。農業を辞めた方の中古機械でもいいし、レンタルでもいい。共同利用できるような仕組み作りを。
- ◆ 収穫などの繁忙期に人手が足りない。この時期に従事してくれる人を募る仕組みがあればありがたい。
- ◆ 畑の隣地の山林が大きくなりすぎて、日照条件が悪くなり、耕作面積にも影響している。台風等での倒木被害も心配。伐採費用を補助するなど、なんらかの対策を。

※4Hクラブ(農業青年クラブ)とは

「4H」とは、農業の改良と生活の改善に役立つ腕(Hands)を磨き、科学的に物を考えることのできる頭(Head)の訓練をし、誠実で友情に富む心(Heart)を培い、楽しい暮らし、元気に働くための健康(Health)を増進するという、同クラブの4つの信条の頭文字を総称したものです。

農業経営をしていくうえでの身近な課題の解決方法を検討したり、より良い技術を検討するためのプロジェクト活動を中心に、消費者や他クラブとの交流、地域ボランティア活動を行っているのが、4Hクラブです。



座談会ではこのほかにも、いろいろなお話を伺いました。

アライグマは昔は別荘地域にしかいなかったのが、防護柵のすきまを抜けて侵入し、北の方に出没範囲が広がっており、今は大田和地区でも見るようになったそうです。



獣害対策のほかにも、新規就農者への支援、繁忙期の人手不足など、多くの課題を確認させていただきました。



また、「農業は天候に大きく左右されるので本当に難しい。」というお話を伺い、農業に従事される方々の苦勞の大きさを改めて認識する機会となりました。

当委員会では、堆肥としての鶏糞購入費の補助金創設について全員協議会に提案するなど、農業従事者を支援できるよう、村にも働きかけていきたいと思ひます。

建設産業経済常任委員会

委員長
渡辺正人

3月5日に、建設産業経済常任委員会を開催し、継続的に協議しております、道の駅リニューアルや公共施設の状況把握等についての協議のほか、新たなサルの群れに関する報告を行いました。

◆道の駅リニューアルについて

1月29日及び2月19日に開催した「道の駅専門部会」での協議事項を報告し、その内容をもとに意見交換を行いました。

活き活き広場の有効活用や、PR用のプロモーションビデオの撮影について、専門部会を通じて関係部署に提言していくこと、また、山梨大学からの道の駅なるさわに関する調査報告も参考にして、道の駅の現場担当者等と改善に向けて意見交換していくことといたしました。



◆公共施設の状況把握について

協議に先立ち、総務課長より新庁舎建設についての進捗状況をご説明いただきました。

(関連記事P14)

そのあと、公共施設の視察について協議し、総合センター、保育所、勤労青年センターの視察を、次回6月定例会の会期中に実施する方向で検討・調整していくことといたしました。



◆新たなサルの群れについて

本年2月に8頭の新たなサルの群れが確認されましたが、猟友会により、大型囲いわななどを活用して3月初旬までに全頭駆除されたことを報告いたしました。



渡辺 次男 議員

厚生労働省より水道管の耐震適合率の発表があったが、本村の現状及び今後の計画はどのようになっているか。

また、福島県沖を震源とする地震では、大規模な断水発生や、水が激しく噴出している様子が報道された。

水道管被災時の応急復旧工法等は確立され訓練は行われているか。

※耐震適合率

水道管の基幹管路総延長のうち、耐震適合性のある管路の割合。本村の場合、耐震適合性のある管路は全て耐震管(ポリエチレン管)のため、耐震化率と同じ数値となる。

Q 水道管の耐震適合率(※)の現状は

A 耐震化率は13.9%

●振興課長 木暮 富人

水道施設の耐震化状況は、全国40.9%、山梨県35.3%、本村は13.9%であり、南海トラフ地震等の災害への備えには不十分と考えている。

水道管の布設替えは村道改良工事と同時に行っているが、舗装の劣化状況と埋設管の布設年度等を勘案し、路線を決定しており、布設の計画は策定していない。

将来的な給水人口の減少や節水機器の普及等により水道料金収入の減少は避けられず積極的な布設替えは不可能な状況である。

簡易水道事業の資産を整理・把握した上で、水道料金水準の適正化を進め耐震化管路への布設替えの財源としたい。

停電時対応などの訓練は実施しているが、水道管被災時の応急復旧工法等は取り組んでいない。今後の訓練計画の参考とする。

Q 役場新庁舎建設のスケジュールは

A コロナ対策優先のため明確な回答は不可

平成29年9月に各種団体代表と見識者で組織した鳴沢村庁舎整備検討委員会が設立され、鳴沢村庁舎建設基本構想、基本計画が策定されたが、それによると2020年には着工し2022年には供用開始となっている。

新庁舎建設に対しての準備や計画の進捗状況、また今後の具体的なスケジュールは。



佐藤 博水 議員

●村長 小林 優

新型コロナウイルス感染症が拡大し、いまだに収束の見通しもつかない状況である。住民の命を守ることが最優先であり、このような状況下のため新庁舎の建設は遅れている。

現在、庁舎の近隣住宅2軒の補償評価調査を実施中で、3月末に調査が完了する。また、このほかに近隣の地主の方とも交渉している。

新型コロナウイルス感染症対策が最優先なので、いつまでというような明確な回答ができる状況ではない。

少ない経費で村民にとって利用しやすい施設となるよう鋭意努力していくので、近隣の土地所有者の皆様のご協力と、住民の皆様にもご理解とご協力をお願いして、この庁舎建設を実現させていきたい。



竣工から57年経過した役場庁舎



三浦 雄一郎 議員

Q 新型コロナウイルス感染症 追加対策は

A 住民生活及び地域経済の活性化を 支援

本村は独自の新型コロナウイルス感染症対策を実施してきたが、村民や村内事業者への広報、周知徹底による支援・感染症対策は十分であったか。

今後の追加支援策、感染症対策は考えているか。

また、職員の労務・健康管理は適切であったか。

分散勤務による効果は。村民サービスの低下は無かったか。

●企画課長 三浦 寿 得

鳴沢村新型コロナウイルス感染症対策本部会議で支援策を検討して、第1次として村民へのマスク配布、子育て・学生応援臨時給付金、在宅介護支援給付金、障害児者通所等利用者支援金事業の4事業を実施した。

第2次として、新型コロナウイルス感染拡大により打撃を受けた村内事業者及び村民の生活を応援することを目的とした、暮らし応援商品券配布事業や、感染症予防対策として避難所における感染症予防対策のための物品購入及び備蓄用品の保

管場所となる防災倉庫の設置、鳴沢保育所のホールエアコン設置、なるさわ富士山博物館のトイレ改修等の事業を行った。

追加支援策としては、住民生活及び地域経済の支援に非常に効果のあったくらし応援商品券配布事業の第2弾を計画しており、その他にも地域経済の活性化に効果的な事業を検討している。

村民や村内事業者への支援策・感染予防対策の周知は、広報やホームページへの掲載及び防災行政無線の活用などにより迅速な対応が出来た。

●総務課長 渡 邊 安 司

職員の労務・健康管理については、関係部署では時間外勤務が増加したが、健康管理には十分に注意を払い、地方公務員法で定められた範囲内で勤務している。

職員の分散勤務は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の観点から、役場の業務継続計画に基づき実施した。職員の感染発生もなく効果はあった。

また、担当者の席が分散されていることも、来訪者に理解していただき苦情等は一切なかった。



昨年度配布されたくらし応援商品券

Q FCふじさくらの支援、 提携の考えは

A 有意義な支援、提携を検討していく

女子サッカーチームFCふじざくら(富士観光開発(株))が山梨県初のなでしこリーグ1部参入を目指して活動している。

鳴沢村のアピールに、また村のイベントに参加していただく等の目的で、応援のための支援、提携していけないだろうか。



昨年1月に保育所でイベントを開催



三浦 直樹 議員

●企画課長 三浦 寿 得

FCふじざくらは、平成30年11月に発足し翌年はなでしこリーグ3部のチャレンジリーグへの入替戦まで進出するなど躍進している。

また、平成31年度は鳴沢保育所において、サッカー教室を開催し、今年度はホームグラウンドでの試合の観戦案内や、選手たちで収穫した野菜を保育所に寄附するなど、地域貢献活動も積極的に行っている。

鳴沢村に拠点を置き、高い目標を掲げているチームなので、村民に広く周知し、村全体で応援していきたい。また、HPを活用して、チームの戦績や活動状況等を広く発信していきたい。

村民のスポーツ振興や健康増進、観光などにおいて、どのように関わり、また支援、提携していくことが有意義か検討していきたい。

Q 別荘地の火災予防のための 村との連携は

A 各管理事務所から要望があれば検討



土屋 文明 議員

鳴沢村第5次長期総合計画によると、消防、救急体制の主要事業を、常備消防は富士五湖消防本部、非常備消防は鳴沢村消防団と、両消防をさらなる強化と定義づけられている。

別荘地区の火災発生の増加に歯止めをかけるためにも富士五湖消防の協力のもと、火災予防の促進と初期消火知識の訓練など、管理事務所と村との連携が必要であると思うが村の考えは。

●総務課長 渡 邊 安 司

火災が発生した場合、第1には、富士五湖消防本部が消火活動に当たり、第2には非常備消防である村の消防団が消火の支援に当たる。

日頃から消化器を備えるなど、火災予防や初期消火である自助が特に重要となり、このほか、近所の皆さんで消火栓を使った初期消火である共助が必要になる。

現在、別荘地区においては自主防災組織がない状況だが、火災だけでなく、万が一の災害時の避難誘導など、自主防災の役割は益々大きくなっている。今後、各管理事務所でご要望いただければ、(連携について)検討する。

議会だよりモニターの皆さまから、2月発行の議会だよりNo43について、次のようなご意見等をいただきました。皆さまからのご意見を参考に、今後もよりよい議会だよりを作っていきたいと思っております。

表紙写真に季節が感じられ、今では多くの家庭でやらなくなった伝統行事を子どもたちが一生懸命やっているのが懐かしくもあり、心が温かくなりました。

各ページの題名が見やすく表示されているため、開いてすぐにページの内容がわかり、読みやすいと思いました。

(30代 女性)

もちばら飾りの写真の構図が良いと思いました。

専決処分の説明が補足されていて、分かりやすく工夫されていると感じました。

補正予算の説明で、使い道と主な財源が記載されていて分かりやすいと思いました。

(70代 男性)

道の駅なるさわの駐車場が整備され綺麗になりました。

私は極力買い物は地元で道の駅で買うようにしていますが、村民が富士河口湖町や富士吉田市に行かずとも、道の駅なるさわで買い物しやすくなるように、村民限定の割引など、特典をご検討いただきたいと思います。

(80代 男性)

座談会の記事にあるように、当村の魅力、富士山を始め多々ある宝を活かし魅力ある鳴沢村を目指して欲しいと思います。

観光産業の発展は村の繁栄、雇用の促進へ導く貴重な財産です。加工部の方々のご意見アイデアを活かし、難しいを可能にして実行して欲しいです。

(60代 女性)

鳴沢樹型の里加工部との座談会では、道の駅への要望や村の活性化への意見が出て、議員さんの参考になったことと思います。今後も鳴沢村の様々な分野の方々との座談会をすると、いろいろな角度から意見が出てよりよい村作りにつながるのかなと思いました。

(40代 女性)

『一般質問村政を問う』のコーナーは、議員の方の活動が見え、分かりやすく、読みやすいので、ページ数をもっと増やしても良いと思います。

(50代 男性)

食物アレルギーの対策について興味深く目にとまりました。安全に提供できるよう、詳細な打ち合わせや対応がなされていることを具体的に知ることができ、安心につながりました。

今回の『鳴沢のおすすめ!』のような昔ながらの事柄など今後楽しみをしています。

(50代 女性)

鳴沢村でどのような行事や話し合いが行われているのか書いてあり、非常に勉強になりました。また、今後行われる行事のカレンダーなど作ってほしいです。

(20代 男性)

今回で3回目の意見投稿になりますが、私達モニターの意見が、議会運営にどう反映されているのか良く分かりません。

意見がどのような場で議論や討論されて、どのように議会運営や政策立案に役立っているのか全体の流れが分かるよう記載いただきたいと思います。

(40代 男性)

※30代女性からも同様の意見あり

議会だよりモニターの皆さまには、記事の内容や構成などについてのご意見をいただいているため、議会運営や政策立案へ直接役立てるということは難しいのですが、いただ

いたご意見については広報常任委員会で意見交換し、取り入れられるものは誌面づくりに反映させていただきます。

よろしくお願ひいたします。

興味深い郷土史と世界史の繋がり

太刀川 良一

中東とアフリカで20年以上過ごし、現在は鳴沢村に住んでいます。

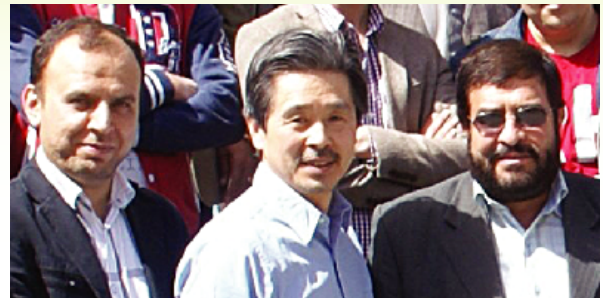
富士山麓で面白いのは、シルクロードの終着点は日本と感じられることです。

郷土史と世界史の繋がりがあまりに多すぎて書ききれませんが、ここでは一つ、オダイローサマ(御第六様)について述べます。

インド・アリア系の思想では、世界の中心に須弥山があり、富士山がそれに見立てられています。須弥山の上には、天が何層にも渡って連なっており、魔王天神社の魔王天



中東シリアにあるパルミラの四面門



は、この六番目の層に住む神様です。珍しいことに、日本古来の神社に、印度系の神様が祀られています。拝殿から後方の山を拝む、古い神社の形式のため、戦国時代に移祀される前は、古来の神を崇拝していたかもしれません。

魔王天は織田信長に崇拝され、それを恐れた豊臣秀吉によって廃されます。このため関東近辺に僅かに残るのみで、魔王天の名を冠した神社は、ここを含めて二か所しかありません。

今はテニスをさせてもらいながら、郷土史と世界史の繋がりの考察に、日々励んでいます。

広報常任委員推薦！ 鳴沢のおすすめ！

広報常任委員会
渡辺 宗司

スワのランチ情報！

ふる里のけむり

昨年5月に「ふる里のけむり」という大衆食堂がオープンしました。

場所は、大田和西交差点を富士山方面に約100m進んだ左側にあります。

こちらは、川上泰司さん・陽子さんが夫婦で経営しています。

営業時間は11時から14時30分、定休日は木曜日です。

店主自ら鳴沢村で栽培した新鮮な野菜を使った料理を含め、品数は36品もあります。中でもおすすめは「ふるさと定食」です。

皆様も一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



総務教育厚生常任委員会より

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから1年以上が経過しましたが、未だ収束の気配は見えません。

最近では、遺伝子情報に変異した「変異株」の感染者が全国的に拡大しており、県内でも感染者が確認されています。

変異株は「感染力が強い」「重症化しやすい」などといわれており、今後も十分な警戒が必要です。

◆変異株でも「マスク・手洗い・うがい」といった基本的な予防策の重要性は変わりません。続けていきましょう。

◆GWは人の移動による感染拡大が懸念されます。感染者が多い地域への旅行等はできる限り控え、感染症対策を徹底しましょう。

◆バランスの良い食事を心がけ、適度な運動をして睡眠も十分にとり、万が一感染しても重症化しない体づくりを心がけましょう。

なるさわ議会だよりは、ホームページでも公開しています。また、本会議の会議録も公開していますので、ぜひアクセスしてください。

